

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

令和3年7月のHPきごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1) ゼネコン4社 収益性悪化 今期 工事利益率6年ぶり低さ
- (2) 鋼材価格が全面高 熱延1カ月半ぶり上昇 建機向け回復
- (3) マナーのツボ 会話が續かないのが悩み
- (4) 「遠隔テック」人手不足補う 建設現場にロボ
- (5) 壁床材 全面値上げ サンゲツ、13~18%
- (6) 設備投資回復 10.8%増 需給逼迫・デジタル対応で
- (7) 未婚者の5割「雇用安定を」
- (8) 東京の世帯人数「2割れ」 独居・高齢化進む
- (9) 人口減少率が過去最大 近畿3府県、2020年国勢調査

(1) ゼネコン4社 収益性悪化

今期 工事利益率6年ぶり低さ 五輪・復興需要が一服

*ゼネコン大手4社の建設工事の収益性が低下。

*完成工事総利益率は2022年3月期、6年ぶりの低水準。

*民間工事は新型コロナウイルス禍で落ち込んだ受注が回復しますが、東京五輪関連や東日本大震災の復興需要がなくなり競争が激化。

*今期の建設工事の4社合計の受注高は、6%増の5兆4300億円と3年ぶりに上向く見通し。

*ワクチンの普及で一定の落ち着きを取り戻し、民間投資も回復すると予想。

*建設経済研究所によると、2020年度の国内建設投資は63兆1500億円で、早ければ2024年度ごろにコロナ禍からの回復を見込むものの、その後は横ばいと推計します。

(2021年6月2日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 鋼材価格が全面高 熱延1カ月半ぶり上昇

建機向け回復

*鋼板類や形鋼類といった鋼材の一般流通価格が全面高。

・熱延鋼板は約1か月半ぶりに値上がり。

・建設用のH形鋼も4月に比べ4%高。

(2021年6月4日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(3)  **マナーのツボ 会話が続かないのが悩み**

おうむ返しで共感伝える

- * 「会話が続かない」という悩みが約半数。
 - * おうむ返しは、時に傾聴・受容・共感の重要な役割を果たします。
 - * 言葉のポイントを繰り返しながら相手のことを肯定し、感情に共感します。さらに続けてひとつこと添えます。
 - * 前向きな内容であれば、笑顔で楽しく。
 - ・ ネガティブな内容は、落ち着いてトーンを下げ受け止めます。
- (2021年6月12日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(4)  **「遠隔テック」人手不足補う 建設現場にロボ**

- * 建設現場で遠隔技術の活用にあつむのは、ロボットシステム開発のテックシェアと大成建設。
 - ・ 四足歩行ロボを使った遠隔巡視システムを共同開発。
 - ・ ロボが現場を回って撮影した映像を基に工事の進捗をチェックします。
- (2021年6月16日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(5)  **壁床材 全面値上げ サンゲツ、13~18%**

塩ビ価格上昇を転嫁

- * 壁紙国内最大手のサンゲツは、壁材や床材を9月21日受注分から全面値上げ。
 - ・ 値上げ幅は13~18%程度。
 - ・ 塩化ビニール樹脂や繊維の価格上昇を転嫁。
 - ・ 値上げは2018年10月以来。
 - * サンゲツは壁紙で5割、塩ビ系の床材で4割の国内シェア。
 - * カーテン素材も値上げの対象。
 - * 塩ビ系の床材で国内シェア2位の東りも7月以降の受注分について、10~15%程度引き上げる方針。
- (2021年6月16日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(6)  **設備投資回復 10.8%増**

需給逼迫・デジタル対応で コロナ後成長へ布石

*2021年度の設備投資動向調査で、全産業の計画額は前年度実績比10.8%増える見通し。国内の上場企業と資本金1億円以上の企業928社対象の調査。

- ・新型コロナウイルス感染拡大前の水準に並びます。
- ・電子部品への対応やデジタル投資、運輸などでも投資を増やす動きが出てきました。

*増加率は2012年度（10.8%）以来9年ぶりの高水準。

*製造業の投資額は16.3%増える見通し。

- ・増加率は2005年度（16.8%）以来の高水準で、金額も2019年度を上回ります。

*非製造業の投資額は3.2%増で、コロナ前の水準を下回ります。

*自動車は12.4%増。

*デジタル投資の計画額は7.2%増で、3年連続のプラス。

（2021年6月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

(7)  **未婚者の5割「雇用安定を」**

コロナ下、4割超が結婚に意欲

*2020年の婚姻数は前年比12.3%減の525,490件。戦後最小を更新。

☆20~40代の未婚男女1000人に、結婚についての調査

*Q「コロナ禍でも婚姻数が増えるには、何が重要だと思うか」（複数回答）

⇒

A「雇用を安定させるための支援」54.4%。

「金銭的な支援（新婚家庭への資金支援、住居補助など）」42%。

「男女ともに家庭と仕事が両立できる職場の制度づくり」34.9%。

「長時間労働の是正や休みをとりやすくするなど、働き方改革」32.8%。

*コロナの感染拡大という状況下でも、未婚者の4割超は結婚への意欲を持っています。

*2020年は出生数も840,832人と過去最少。

（2021年6月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(8)  **東京の世帯人数「2割れ」 独居・高齢化進む**

全国平均は 2.27 人 2020 年国勢調査

- *1世帯当たりの人数の減少が全国で進みます。
- *全国平均は 2.27 人と 5 年前の前回調査から 0.11 人減り、東京は 1.95 人と全国最低。 ・大阪は 2.14 人、京都は 2.17 人。
- *一人暮らしの高齢者の増加。
- *65 歳以上の高齢者の人口は 2065 年に 38.4%と、2015 年比で 10ポイント超上昇。
- *15~64 歳の生産年齢人口は細り、高齢者 1 人を 1.3 人の働き手で支える時代に。

(2021 年 6 月 26 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(9)  **人口減少率が過去最大**

近畿 3 府県、2020 年国勢調査 政令市、大阪以外減る

- *京都府と奈良県、和歌山県の 3 府県で、1920 年の調査開始以来最大の減少率を記録。
- *近畿の政令市で人口が増加したのは大阪市 (2.4%増) だけ。
・大阪市の中でも特に北区 (12.8%増)、中央区 (11.5%増)、西区 (14.6%増) の 3 区は 2 桁の増加率。

近畿 6 府県と 4 政令市の人口 2020 年国勢調査		
	総人口 (人)	増減率 (%)
大阪府	8, 842, 523	0.03
京都府	2, 579, 921	-1.2
兵庫県	5, 469, 184	-1.2
滋賀県	1, 414, 248	0.09
奈良県	1, 325, 437	-2.8
和歌山県	923, 033	-4.2
大阪市	2, 754, 742	2.4
堺市	826, 447	-1.5
神戸市	1, 527, 022	-0.7
京都市	1, 464, 890	-0.7



(2021 年 6 月 26 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)